

アステム芦屋C棟_松韻の街 地区防災計画

防災基本編



令和8年（2026年）3月版

目次

1. 地区の概要

- 1.1 地区防災計画の目的
- 1.2 地区の被害想定

2. 津波避難について

2.1 垂直避難方法

- (1) アステム芦屋C棟の避難者受入れ条件
- (2) アステム芦屋C棟への避難時期と方法
- (3) 避難誘導係
- (4) アステム芦屋C棟共用階運用ルール
- (5) アステム芦屋C棟からの退避
- (6) 別途協議事項

2.2 水平避難方法

- (1) 避難場所、避難経路について
- (2) 一時避難施設と避難所（二次避難）

3. 地区防災計画の運用

- (1) 防災訓練の実施
- (2) 防災教育、人材育成
- (3) 計画の検証と見直し

参考資料

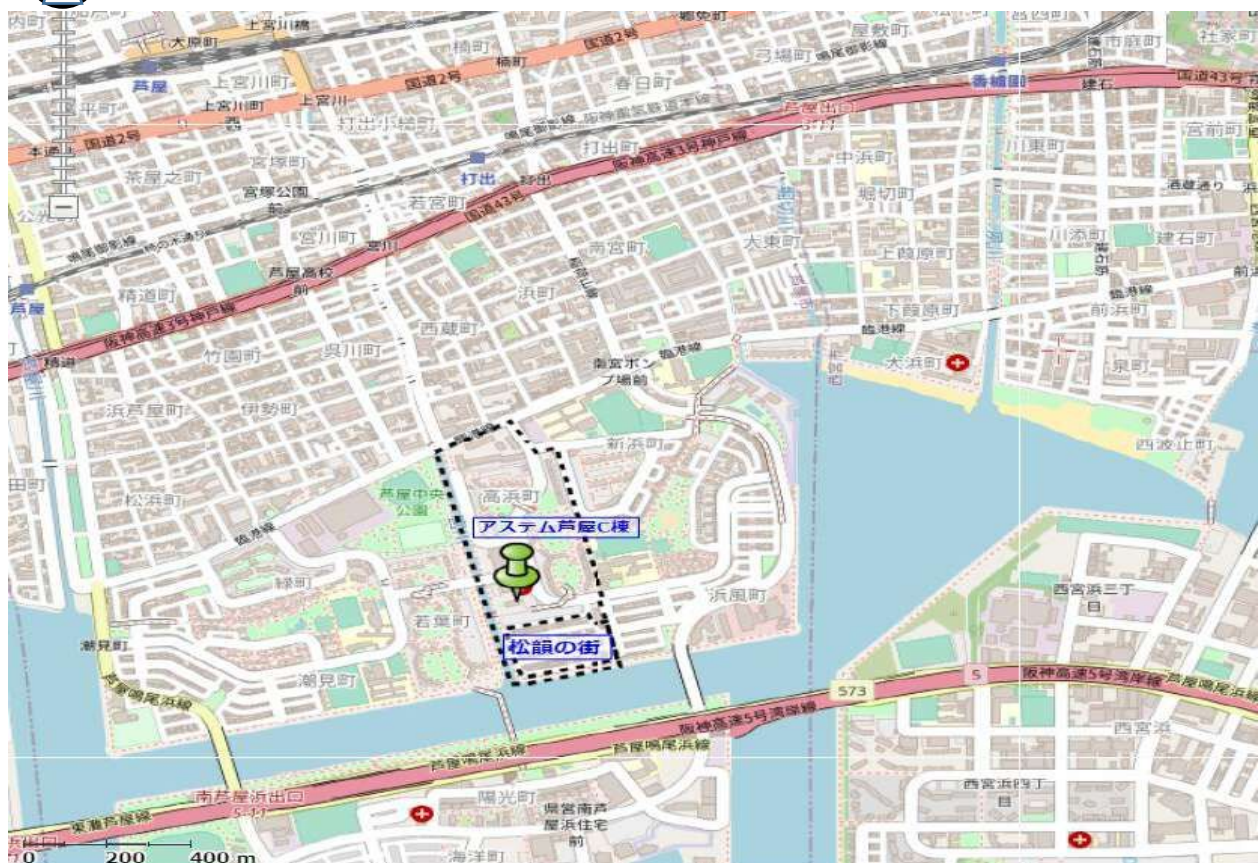
1. 地区の概要

高浜町は、1975年に宅地造成が完成し、1979年に「芦屋浜シーサイドタウン」として高層住宅が建設されました。その後、2007年には芦屋浜シーサイドタウン南側の高浜用地の宅地造成工事が完了し、「松韻の街」として5月から分譲を開始しています。

2018年の台風21号では高潮被害が発生し、防波堤の嵩上げ工事が行われる予定でしたが、検討の結果、嵩上げは行わない事になりました。

近年の高潮時に防波堤を超える事象が発生すれば、松韻の街は浸水するため、北側に位置する「アステム芦屋C棟」への避難を行わなければならない状況にあります。

高潮発生時以上に、南海トラフ地震発生時には津波が防波堤を越えて襲来する可能性が高く、高潮発生時以上に「アステム芦屋C棟」への避難を実施する必要があります。



1.1 地区防災計画の目的

アステム芦屋C棟_松韻の街の地区防災計画の目標として災害時における目的（やるべきこと）と決めました。

南海トラフ巨大地震発生に伴う「津波」や、「火災」、「洪水」等の被害が想定されるこれらの災害発災時に、アステム芦屋C棟、松韻の街の住民が協力し、被害を最小限に抑えます。



1.2 地区の被害想定

南海トラフは、日本列島が位置する大陸のプレートの下に、海洋プレートのフィリピン海プレートが南側から沈み込んでいる場所です。この沈み込みに伴い、2つのプレートの境界にはひずみが蓄積されています。

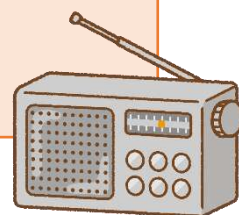
南海トラフでは約100～200年の間隔で蓄積されたひずみを解放する大地震が発生しており、近年では、昭和東南海地震及び昭和南海地震が起きてから70年近くが経過しており、次の大地震発生の可能性が高まってきています。

南海トラフ巨大地震発生時における芦屋市の被害想定では、最大震度6弱以上、津波高3m以上となっています。

(出典：芦屋市地域防災計画)



震災発生時の震度と津波高さは、
気象庁の速報を確認する。



2. 津波避難について

芦屋市高浜町地区の地形的条件から、南海トラフ巨大地震発災時には、震度7程度の揺れと同時に津波襲来の可能性があります。

併せて震度7以上では、高層棟・戸建て住宅共に損壊・倒壊・崩壊する可能性(最悪の事態の想定)があることから、全住民が建物から退去し水平避難しなければなりません。

①**垂直避難** (アステム芦屋C棟共用部への避難)

②**水平避難** (国道2号線以北への避難)



2.1 垂直避難方法

(1) アステム芦屋C棟の避難者受入れ条件

【前提条件】

地震による建物損壊が認められず、津波警報または大津波警報が発令時、松韻の街住民は避難協定に基づき、アステム芦屋C棟共用階へ避難します。但し、建物に損傷がない場合に限ります。

【前提条件】

アステム芦屋C棟共用部における松韻の街住民の許容避難者数は、共用階・7階と12階を合わせて190名程度（総人口の43%程度）。

松韻の街住民の避難希望者全員を収容できません。

【共用階への避難時間】

気象庁が発令する大津波警報・津波警報解除までとします。

(2) アステム芦屋C棟への避難時期と方法

【芦屋高浜松韻の街から避難開始のタイミング】

気象庁の大津波警報が発令後、直ちに避難行動を開始して下さい。

【アステム芦屋C棟共用階までの移動手段】

松韻の街からアステム芦屋C棟までは徒歩で移動し、共用階（7階、12階）へは階段での避難を前提とします。

(3) 避難誘導係と受付

【役割】

災害発生時に、避難誘導係が住民の避難を誘導します。
アステム芦屋C棟7F（避難階）エレベーター前のスペースで受付名簿を準備し、記入者にシールを配布する。

<詳細>

- ・アステム芦屋C棟と松韻の街双方から誘導係を選出
- ・誘導係の目印としてビブス&キャップを着用
- ・避難時に混乱を避けるために避難方向を誘導
- ・受付はアステム芦屋C棟7階エレベーター前に置き、外部からの避難者に名簿への記入を依頼しシールを配布する

(4) アステム芦屋C棟共用階運営ルール

【避難者が持参するもの】

避難者は、津波警報・大津波警報発令中の一時的な避難場所としてアステム芦屋C棟の共用階に避難します。**滞在時間は警報発令中**とし、最大40時間（1日半）を想定し、避難時に必要な物資は各自持参して下さい。

【ペット同伴避難は不可】

ペット同伴避難者は基本的に受け入れません
個人所有のマンションで、非常に狭い共用スペースのため
ペット同伴での避難の受入をマンション管理組合が合意しておりません。



(5) アステム芦屋C棟からの退避 【共用部からの退避】

大津波警報又は津波警報解除後、速やかにアステム芦屋C棟共用部を離れることを前提とします。

滞在期限は警報発令中までとしますが、避難先の安全が確保されない場合はこの限りではありません。

津波と地震の被害状況で、浜風小学校（避難所）や臨港線以北から国道2号線以南が水没している可能性があり、浜風小学校校区内が島となり孤立する可能性があるため、浸水の可能性の少ないと想定される地域へ避難するタイミングと避難方法を検討しておく必要があります。

(6) 別途協議項目

・アステム芦屋C棟共用階の避難者スペースの割り当て

（2㎡/一人を基準）

- ・ペットはアステム芦屋C棟では基本的に受け入れない
- ・ペット同伴者の避難先については公的避難場所などを含め、避難先を検討して行きます

2.2 水平避難方法

(1) 避難場所、避難経路について

【津波発災時の想定される状況】

- ・ 近隣の浜風小学校、潮見中学校の体育館が水没します。
- ・ 臨港線以北国道2号線までの間は標高が低く、浸水した場合はポンプ排水が稼働するまでは水が引かない可能性があります。
- ・ 広範囲な停電が想定され、電源が復旧するまでポンプ稼働できません。

【いつ避難するのか】

気象庁の大津波警報又は津波警報が発令された場合、直ちに避難行動を開始します。

【どこへ避難するのか】

浸水の影響が少ないと考えられるエリア（国道2号線以北）の避難場所に避難します。



(2) 一時避難施設と避難所（二次避難）

【芦屋市の国道2号線以北への避難】

国道2号線以北へ水平避難した場合、芦屋市が公式に一時避難施設及び避難所としてリストアップしている建物は、芦屋市津波防災情報マップ（全戸配布・2024年7月発行）を参照して下さい。

https://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/documents/202407_tsunami.pdf

「避難場所」と「避難所」の違いを知っていますか？

「避難場所」

火災などから身を守るため、一時的に逃げ込む先

例) 河川敷や大きい公園など、広いスペースが指定される

「避難所」

災害のため自宅で過ごすことが困難になった時、一定の期間、避難生活をする場所

例) 学校や公民館などが割り当てられる

[_https://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/basho.html](https://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/basho.html)



【避難の備え】

津波を伴う大規模災害発生時に自宅を離れる際には、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉じ、その上で水平避難により国道2号線以北へ避難します。

津波襲来の前に火災が発生することも想定されるため、住宅密集地を避け、バス通りを避難しましょう。

大規模災害発生時による停電で信号が停止する可能性が高く、車で避難すると渋滞が発生している場合があります。

【避難場所】

市内の小学校などへ避難する場合は、徒歩、自転車で避難する場合どれくらい時間がかかるのか、夜間に照明が切れている時にどのような目印があるのかを確認します。

芦屋市が配布している避難所リストを予め目を通しておき、災害発生時にはどこに逃げるか家族で決めておきましょう。

救命胴衣も防災グッズとしてでているので、生き残る方法を考えましょう。救命胴衣は防災用や釣り具用のガス式ではなく、船舶用常備用の発泡スチロール製が劣化せずリーズナブルです。

日頃からよく行く場所については、予めハザードマップでチェックしておきましょう。

【家族との連絡手段】

携帯電話がつながる場合は、171番やLINEを活用して安否確認を行います。

大規模災害時直後は通信回線が途絶える可能性が高いので、予め家族で落ち合う場所を決めておきましょう。

3. 地区防災計画の運用

(1) 防災訓練の実施

【防災訓練の目的】

- ・津波襲来時に安全に避難します。
- ・防災倉庫の資機材使用練度の向上を図ります。
- ・地域住民間のコミュニケーションの向上を図ります。

【実施スケジュール】

- ・毎年定期的に防災訓練を開催します。
- ・3年後までにはシーサイド地区全体で2次避難まで考えた防災計画の立案と全体防災計画を踏まえた合同防災訓練を視野に入れます。

【実施内容】

- ・誘導係の訓練も含めたアステム芦屋C棟への垂直避難訓練を実施します。
- ・国道2号線以北等の避難場所へ避難するための水平避難訓練を実施します。
- ・防災倉庫備品（バール、ジャッキ等）の内容、及び使用方法を確認するための防災訓練を実施します。
- ・合同炊き出し訓練を実施します。
- ・黄色いタオル、LINEやGoogle系アプリ等を活用した安否確認訓練を実施します。

(2) 防災教育、人材育成

【実施体制の確立】

毎年交代する役員への啓発活動と防災教育を実施します。防災士を中心にガイダンスを開き、地区防災計画の主旨と運用をレクチャーします。住民向け防災講座(地理的条件、1次避難と2次避難、未整備事項が多い現実の説明等)を定期的に開催します。

これらを実施することにより、無関心層に対して「助けられる人」から「助ける人」に変えていきます。

芦屋市の防災士養成講座を活用して、防災人材の育成を図ります。

(3) 浜風小学校区防災会との連携

浜風小学校区防災会と連携し、浜風小学校区全体での連携を念頭に入れた防災活動に広げて行きます。

(4) 計画の検証と見直し

【計画の改善】

防災訓練等の結果を踏まえ、定期的に計画の検証・見直しを行います。検証・見直しについては、防災士と自治会・管理組合の役員を中心に行う事とします。

検証については、毎年の訓練の内容を入れ替える、他地域と連携した訓練を実施する等、参加者を増やす計画を立てます。計画内容を役員のみでの共有ではなく、地域住民に認めてもらうために情報発信します。計画は、だれでも同じような行動ができるようになることを目指して立案します。

アステム芦屋C棟共用部における許容避難者数

避難人口は、短期（一時的）滞在時の一人当たりの面積2㎡として試算した場合、アステム芦屋C棟の人口35人（4階以下）、芦屋高浜松韻の街の推定人口400人、合計435人となります。

南海トラフ巨大地震が発生すると、エレベーターが非常停止（およそ震度5弱）します。

停止後は、メンテナンス会社の保全技術者が昇降路内の安全を確認してから再起動される。復旧までは相当の日数を要します。

表2 地点別標高

地点	標高
JR芦屋駅北山手幹線大原中央交差点	14.3m
JR芦屋駅南セブンイレブン前	13.4m
国道2号線上宮川町西交差点	10.5m
国道43号線芦屋高校前交差点	3.7m
臨港線花水木通り中央公園前交差点	4.3m
シーサイド管理センター前交差点	4.8m

芦屋市津波防災情報マップ

避難所(高潮)

避難所が指定される場合に自主避難所として機能

番号	名称	所在地
1	市民センター	芦屋町1番2号
2	若園小学校	若園町2番41号
3	山手小学校	若園町2番2号
4	瀬屋文芸センター	高津町7番1号

福祉避難所一覧

番号	名称	所在地
5-1	アクティブライフ芦屋	若園町11番15号
5-2	アクティブライフ山手	山手町8番18号
5-3	芦屋アパールの家	高津町15番11号
5-4	あしや産婦人科	六本町1番57号
5-5	こころあひす	若園町29番14号
5-6	保健福祉センター	山手町14番9号
5-7	あしや産婦人科	高津町3番2号
5-8	あしや	高津町31番3号
5-9	あしや産婦人科	高津町31番1号
5-10	エルホーム	高津町12番5号
5-11	エルホーム	高津町5番30号
5-12	reach	高津町3番75号
5-13	reach	高津町5番30号
5-14	reach	高津町14番1号
5-15	reach	高津町11番18号
5-16	reach	打出町6番4号
5-17	reach	高津町4番55号
5-18	reach	高津町4番55号
5-19	reach	高津町4番55号
5-20	reach	高津町4番55号
5-21	reach	高津町4番55号
5-22	reach	高津町4番55号
5-23	reach	高津町4番55号
5-24	reach	高津町4番55号
5-25	reach	高津町4番55号
5-26	reach	高津町4番55号
5-27	reach	高津町4番55号
5-28	reach	高津町4番55号
5-29	reach	高津町4番55号
5-30	reach	高津町4番55号

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	状況	避難情報等	あなたがとるべき避難行動
1	津波発生時の緊急警報	早期注意情報	災害への心構えを高めよう。
2	高潮警報の発令	高潮注意報 大雨注意報等	自らの避難行動を確認しよう。
3	高潮警報の発令	高齢者等避難	危険な場所から高津町避難所へ
4	高潮警報の発令	避難指示	危険な場所から安全な場所へ
5	津波発生 または津波	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!

高潮時の避難行動確認フロー

高潮からの避難は事前の準備が可能です。自宅の場所や避難所の位置を把握し、立寄り避難が必要なのかを確認し、そのタイミングでどこへ避難行動をとるのか決めておきましょう。

自宅は浸水のおそれがある(色がついている)区域内にありますか?

- ない: 在宅避難が可能。在宅避難に不安がある場合は、屋内安全確保(自宅にとどまり安全確保をすることも可能です)。
- ある: 浸水の深さはどれくらいですか?
 - 0.5m未満: 次の項目に当てはまりますか?
 - 水が流すところより高い場所にとどまる。
 - 浸水しても水が引くまで待てることのできる水・食料などの備えが十分にある。
 - はい: 立寄り避難が必要。ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?
 - はい: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - いいえ: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - はい: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - いいえ: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - 2m以上: 立寄り避難が必要。ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?
 - はい: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - いいえ: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - 3m以上: 立寄り避難が必要。ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?
 - はい: 立寄り避難(避難所へ避難)。
 - いいえ: 立寄り避難(避難所へ避難)。

芦屋市津波防災情報マップ

https://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/documents/202407_tsunami.pdf

南海トラフ巨大地震発生後、芦屋市への津波到達時間は約111分。

国土交通省気象庁・南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/assumption.html>

東日本大震災では、地震発生から津波注意報解除までは40時間程度を要している。

<https://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/140907c-3.pdf>

日本赤十字社「非常時の持ち出し品・備品チェックリスト

<https://www.jrc.or.jp/chapter/tokyo/about/topics/checklist.html>